



月報だよりの原稿は毎月20日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mailで [toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp) 宛にお送りください。折り返し、受領の連絡をいたします。

## 人事公募

### 東京大学宇宙線研究所附属 神岡宇宙素粒子研究施設 特任助教

1. 職種及び公募人員：特任助教若干名
2. 職務内容（専門分野）等：本研究所附属神岡宇宙素粒子研究施設に所属し、スーパーカミオカンデを用いた宇宙素粒子研究の推進およびハイパーカミオカンデ検出器の建設に従事してもらいます。
3. 勤務地：宇宙線研究所附属神岡宇宙素粒子研究施設（岐阜県飛騨市神岡町）
4. 応募資格：雇用の時点で博士号を取得しているか、確実に取得できる見込みの者。性別・国籍・研究経歴によらず、広く関連する研究分野から活発な応募を期待します。
5. 着任時期：決定後できるだけ早い時期
6. 待遇：「東京大学特定有期雇用教職員の就業に関する規程」（平成16年4月1日制定）に定める特任助教とします。同規程に基づき、給与は経歴により決定します。保険は文部科学省共済組合に加入、手当は通勤手当を支給します。
7. 任期：雇用は年度ごとに更新し、最長で5年間とします。
8. 就業時間：専門業務型裁量労働制により、1日7時間45分・週5日勤務したものとみなされます。
9. 休日：土・日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）
10. 選考：選考委員会による書類選考（第一次審査）を行い、最終選考は、面接によります。
11. 応募締切：2022年7月29日（金）正午必着
12. 応募書類：以下（1）から（5）までの書類をEメールに添付で提出してください。（6）の推薦書又は意見書は、作成者からEメールに添付で応募締切日までに提出してください。応募書類・推薦書・意見書の電子ファイル形式はpdfとします。（応募書類の提出に対しては、受信した旨の返信をいたしますので、必ず当方からの返信の有無を

確認してください。）

- (1) 履歴書（市販の様式相当、博士号の有無・取得見込み、電子メールアドレスを必ず記入のこと）
  - (2) 研究歴（A4判で3ページ以内）
  - (3) 業績リスト（論文リスト、研究発表リスト等）、及び主要論文（3編以内）。提出する論文については論文リストに印を付け、一目でわかるようにすること。
  - (4) 着任可能時期
  - (5) 着任後の研究計画（A4判で3ページ以内）
  - (6) 推薦書又は意見書2通
13. その他：
- (1) 「東京大学男女共同参画加速のための宣言」に基づき、女性の応募を歓迎します。
  - (2) 採用時点で、外国法人、外国政府等と個人として契約している場合や、外国政府等から金銭その他の重大な利益を得ている場合、外為法の定めにより、一定の技術の共有が制限され、結果として本学教職員としての職務の達成が困難となる可能性があります。このような場合、当該契約・利益については、職務に必要な技術の共有に支障のない範囲に留める必要があります。
14. 送付先：Eメール  
[application\\_at\\_icrr.u-tokyo.ac.jp](mailto:application_at_icrr.u-tokyo.ac.jp)  
 （メールを送信する際は\_at\_を@に直してください）
- 件名に公募番号の「ICRR2022-05」を明記してください。
15. 問い合わせ先：神岡宇宙素粒子研究施設長  
 塩澤真人  
 電話 0578-85-9611  
 Eメール [masato\\_at\\_km.icrr.u-tokyo.ac.jp](mailto:masato_at_km.icrr.u-tokyo.ac.jp)  
 （メールを送信する際は\_at\_を@に直してください）

### 立教大学理学部物理学科 教員

1. 募集人員：助教 2名

2. (1) 所属部門：立教大学理学部物理学科 宇宙地球系物理学研究室  
(2) 勤務地：東京都豊島区
3. 専門分野：宇宙物理学（実験）の分野で、飛翔体等による観測や機器開発等による研究
4. 職務内容：上記研究、理学部専門科目担当
5. (1) 着任時期：2023年4月1日 (2) 任期：任期あり（1年毎に更新，4回まで更新可）
6. 応募資格：着任時に博士の学位を有する方。在籍するスタッフと協働して研究を進めることができる方。基本的な物理実験技術を教えることができ、コンピュータやプログラミング言語の知識を持つ方。授業が可能な日本語能力を持つ方。
7. 提出書類：(1) 履歴書（連絡先（電話，e-mailアドレス）を明記）(2) 業績リスト（査読論文，その他に分割）(3) 主要論文5編以内（4）競争的資金導入実績（5）研究に関する業績の概要（1500字程度）(6) 今後の研究計画と教育に関する抱負（1500字程度）(7) 照会可能な方2名の氏名・所属・連絡先（電話，E-mailアドレス等）
8. 応募締切：2022年8月31日(水)（必着）
9. 応募上の注意：
  - (1) 提出先：上記提出書類を<http://s.rikkyo.ac.jp/physkoubo2023>に提出。書類送付にはGoogle Accountが必要になります。
  - (2) 問い合わせ先：〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1 立教大学理学部物理学科 山田真也 (syamada\_at\_rikkyo.ac.jp)，または，北本俊二 (kitamoto\_at\_rikkyo.ac.jp)（メールを送信する際は\_at\_を@に直してください）
10. その他：応募書類の送付後自動返信メールを確認してください。こちらからの連絡は書類送付時のメールアドレス宛に送ります。書類選考ののち必要に応じて面接を行います。提出していただいた個人情報、教員任用業務、連絡、手続きのためのものであり、他の目的に使用されることはありません。待遇、給与等は立教学院立教大学の規定によります。立教学院健康保険及び厚生年金保険に加入してもらいます。

## 東京大学大学院理学系研究科附属 天文学教育研究センター 教員

1. 募集ポストおよび人員：特任教授1名
2. 所属部局および勤務地：
  - (1) 所属部局：東京大学大学院理学系研究科附属

- 天文学教育研究センター
- (2) 勤務地：東京都三鷹市大沢2-21-1
3. 専門分野：時間軸天文学
4. 職務内容：
 

当センターは銀河天文学、電波天文学、恒星物理学の3部門および木曾観測所・アタカマ観測所で構成されていましたが、2022年度より新たに時間軸天文学（Time Domain Astronomy）部門をたちあげ、南米チリ共和国のTAO望遠鏡・米国のMAGNUM望遠鏡、長野県の木曾シュミット望遠鏡等を用いて時間軸天文学を推進することとなりました。時間軸天文学部門をリードし、MAGNUM望遠鏡およびTAO望遠鏡の立ち上げと上記3望遠鏡等の連携運用に中心的役割を果たし、他の部門と連携協力しながら科学的な成果をあげられる方を求めます。また天文学専攻の専任教員として大学院および学部教育も担当していただきます。
5. (1) 着任時期：令和4年11月1日以降できるだけ早い時期  
(2) 任期：令和5年3月31日まで。予算状況等により、令和10年3月31日まで更新の可能性あり。さらに、予算状況等により満65歳を越えない範囲で更新の可能性あり
6. 就業時間：
 

専門業務型裁量労働制により、1日7時間45分勤務したものとみなされる。
7. 休日・休暇：
 

土・日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）、年次有給休暇、特別休暇 等
8. 賃金等：
 

年俸制を適用し、業績・成果手当を含め月額80万円～程度（資格、能力、経験等に応じて決定する）、通勤手当（支給要件を満たした場合、月額55,000円まで）
9. 加入保険：
 

法令の定めるところにより、文部科学省共済組合、雇用保険に加入
10. 応募資格：着任時に博士の学位を有すること
11. 提出書類：
  - (1) 東京大学統一履歴書（以下のURLからダウンロードし作成すること）  
<https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/jobs/r01.html>
  - (2) これまでの研究教育業績の概要、
  - (3) 研究業績目録（査読付きとそれ以外を分けること）

- (4) 主要論文別刷 (3編以内)  
 (5) 着任後の研究計画と抱負。  
 (6) 本人について意見を述べられる方3名の氏名と連絡先。
12. 応募締切: 令和4年8月1日(月) 必着  
 書類選考を通過した方には面接を行うことがあります。なお、面接予定者のみ連絡いたします。また、連絡に電子メールを利用することがありますので、応募書類にメールアドレスを記載してください。
13. 応募方法:  
 応募書類を1つのPDFにまとめたうえで、以下のメールアドレスに送付のこと。メールの件名は「IoA 特任教授応募」とすること。メール送付後、3日以内に受信確認のメールが届かない場合は下記問い合わせ先まで電話すること。
- (1) メール送付先  
 Application2022@ioa.s.u-tokyo.ac.jp
- (2) 宛先および問合せ先  
 東京大学大学院理学系研究科天文学教育研究センター  
 センター長 土居守  
 Tel: 0422-34-5021 Fax: 0422-34-5041  
 E-mail: doi@ioa.s.u-tokyo.ac.jp
14. 応募上の注意:  
 外為法等の定めにより、採用時点で、海外との兼業や、外国政府等からの多額の収入がある場合、研究上の技術の共有が制限され、本学教職員としての職務の達成が困難となる可能性があることから、このような場合、兼業等については、本学における研究上の技術の共有に支障のない範囲に留める必要があります。  
 本研究科では、男女共同参画を積極的に推進しています。詳しくは下記URLの理学系研究科男女共同参画基本計画をご覧ください。  
<https://www.s.u-tokyo.ac.jp/ja/overview/gender/>

## 賞の推薦

### 2022年度「第43回猿橋賞」推薦

- 1) 対象: 推薦締切日に50才未満で、創立の趣旨に沿って自然科学の分野で優れた研究業績を収めている女性科学者(ただし、日本に在住・在職で、かつ今後も国内で若手の育成に貢献できる人)
- 2) 表彰内容: 賞状、副賞として賞金、1件(1名)

### 3) 応募方法:

#### 【推薦書類の作成】

推薦書は、当会のホームページ <https://saruhashisho.wordpress.com/> からダウンロードしたワードファイルに記入した後、PDF形式で保存してください。

#### 【記入事項】

- ①推薦者(個人・団体、自薦も可)、受賞候補者の略歴
- ②推薦対象となる研究題目
- ③推薦理由(A4記入用紙1ページに収まること)
- ④主な業績リスト(指定は1頁。やむを得ない場合でも追加は1頁まで。)

#### 【添付資料】

主な論文別刷5編以内。添付資料はPDFファイルで作成して下さい。

#### 【送付先】

saruhashi.office@gmail.com

推薦書(PDFファイル)にはパスワードを付け、添付資料のPDFファイルと一緒に送付してください。推薦書のパスワードは別送付してください。

### 4) 締切は2022年11月30日(必着)

(当会の本宛先は推薦書受付専用です。書類は、猿橋賞選考のためにのみ選考委員会などで用いられます。書類は返却いたしませんのでご了承下さい。)

今後、募集要項に変更がある場合は、ホームページに掲載いたしますので、応募の際はホームページをご確認下さい。なお、この件についての問い合わせは、下記に電子メールでお願いいたします。

saruhashi.office@gmail.com

## 令和4年度『東レ理科教育賞』および『東レ理科教育賞・企画賞』募集

“東レ理科教育賞”は、中学・高校の理科教育に携わる先生方を表彰するユニークな事業です。応募要領をご覧のうえ、どうぞ奮ってご応募ください。

【東レ理科教育賞】対象: 中学校・高等学校レベルでの理科教育における新しい発想と工夫考案にもとづいた教育事例(教育の現場で実績のあるもの)。褒賞: (1) 東レ理科教育賞文部科学大臣賞(賞状, 銀メダルおよび副賞賞金100万円: 東レ理科教育賞の中で特に優れているもの), (2) 東レ理科教育賞(賞状, 銀メダルおよび副賞賞金70万円), (3) 東レ

理科教育賞佳作（賞状および副賞賞金20万円：東レ理科教育賞に次ぐもの）、（4）東レ理科教育賞奨励作（賞状および副賞賞金20万円：東レ理科教育賞および佳作とは別に理科教育上広く普及を奨励するもの）、を合せて10件程度選定。応募手続：所定の応募用紙（申請書）に必要事項を記入し、当会宛1部郵送。応募締切日：2022年9月30日（金）必着。応募要領URL: [www.toray-sf.or.jp/awards/education/application.html](http://www.toray-sf.or.jp/awards/education/application.html)

【東レ理科教育賞・企画賞】対象：中学校・高等学校レベルでの理科教育における新しい発想と工夫考案にもとづいた企画・開発。褒賞：賞状および副賞賞金10～20万円（10件程度選定）。応募手続：9月9日（金）正午までに専用ウェブフォームにて事前申込みの上、所定の応募用紙（申請書）に必要事項を記入し、PDF形式に変換して応募専用メールアドレス宛てに送信。応募締切日：2022年9月10日（土）必着。応募要領URL: [www.toray-sf.or.jp/awards/education/application\\_plan.html](http://www.toray-sf.or.jp/awards/education/application_plan.html)

【両賞共通】応募資格：中学校・高等学校の理科教育を担当、指導、または研究をする方。応募要領参照（6月下旬に昨年度の受賞作品集とともに全国の中学校、高等学校、高等専門学校の学校長経由理科担当教諭宛などに送付。ウェブサイトにも掲載）。応募用紙はウェブサイトからダウンロードしてください。

【お問合せ・申込み先】公益財団法人東レ科学振興会  
〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町3-3-16  
Tel: 03-6262-1656 Fax: 03-6262-1901

## お茶の水女子大学賞： 第10回湯浅年子賞募集要項

### 1. 目的

湯浅年子賞は、お茶の水女子大学及びその前身校において数多くの女子学生を育て、フランスにおいては長年にわたって優れた原子核の実験的研究を行い、国際的に活躍した日本初の女性自然科学者である湯浅年子博士の遺志が若い世代に受け継がれることを願い、自然科学の諸分野において顕著な業績を挙げた女性を顕彰することを目的とする。

### 2. 賞の種類

- (1) 金賞 物理学とその関連領域分野における業績が著しく顕著であり、国内あるいは国外において、既に高い評価が確立している女性を顕彰する。
- (2) 銀賞 物理学とその関連領域分野における業績

が特に顕著であり、近い将来当該分野において、国際的に活躍する女性になると認められる者を顕彰する。

### 3. 受賞対象者

次の(1)、(2)両方を満たす者。

- (1) 物理学とその関連領域分野において顕著な研究業績を挙げた者。また、物理学とその関連領域分野の社会的普及活動あるいは同分野の女性研究者を増大させる活動において、顕著な業績を挙げた者も受賞対象者とする。
- (2) 日本国籍を有する者または日本において高等教育を受けた者。

### 4. 授与

受賞者には、賞状及び副賞のメダルを授与する。（メダルは大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構が日仏共同事業として運営するToshiko Yuasa Laboratoryより授与される。）授賞式は2023年2月14日予定。

### 5. 審査方法

書類審査並びに面接。（書類審査合格者に対して面接審査を行う場合がある。）

### 6. 応募方法

他薦に限る。以下の書類（形式自由）を、推薦者より提出する。

#### (1) 推薦書

被推薦者の業績タイトル、推薦理由、賞の種類（金賞、銀賞）、推薦者の住所、氏名[フリガナ]及びメールアドレスを記載すること。

#### (2) 被推薦者の履歴書

(3) 被推薦者の業績一覧（論文（審査の有無別）、著書、招待講演、学会発表、その他に分類すること）主たる業績3点以内に○印を付けること。

#### (4) 被推薦者の主たる業績を表す資料3点以内

(1)～(4)のPDFファイルを下記のメールアドレスに送ること。なお、PDFファイルにしがたい資料は郵送による提出も可能。

### 7. 提出締切

2022年9月9日（金）（17時必着）

### 8. その他

- (1) 応募書類の提出後、その記載事項を変更することや補充することは認められません。提出された応募書類の内容が事実と異なる場合、当該応募は無効となります。
- (2) 提出された応募書類は返却しません。
- (3) お茶の水女子大学は、面接審査のための旅費は負担しません。
- (4) 応募書類に虚偽が発見された場合は、授賞後で

あっても授賞を取消することがあります。

9. 本件に関する問い合わせ・提出先  
〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号  
国立大学法人お茶の水女子大学  
企画戦略課 男女共同参画担当  
E-mail: Ocha-Prize@cc.ocha.ac.jp  
電話: 03-5978-5336

## 研究会・集案案内

### 「東京大学木曾観測所及び 名古屋大学宇宙地球環境研究所」 特別公開・講演会のお知らせ

東京大学木曾観測所及び名古屋大学宇宙地球環境研究所を一般の皆様にご公開いたします。3年ぶりに施設へ皆様をお迎えして望遠鏡や観測装置を間近に見ていただき、夜には観望会も行います。翌日には木曾文化公園の大きな会場へ場所を移し、講演会「銀河鉄道に乗って一木曾からイーハトーブ、そして宇宙へ」を行います。講演会はYouTubeでの中継も行いますので、会場へ来られない方もぜひお楽しみください。

#### ◆施設公開

- 開催日時: 2022年8月6日(土) 13時~21時  
\*13:00~18:00: 望遠鏡デモンストラーション, 研究紹介など  
\*19:00~21:00: 天体観望会(雨天中止)
- 開催場所: 東京大学木曾観測所(長野県木曾郡木曾町三岳10762-30)
- 交通: JR中央西線木曾福島駅または上松駅から車で約30分

#### ◆講演会

- 開催日時: 2022年8月7日(日) 13時30分~16時(13時開場)  
\*13:30~13:45: 挨拶・観測所紹介  
\*13:45~14:45: 講演1『「銀河鉄道の夜」と宇宙の旅』谷口義明氏(放送大学教授)  
\*15:00~16:00: 講演2『開田高原の夜空を翔る銀河鉄道』畑英利氏(天体写真家)
- 開催場所: 木曾文化公園文化ホール(長野県木曾郡木曾町日義4898-37)
- 交通: JR中央西線木曾福島駅から車で約10分または路線バス木曾駒高原線文化公園入口下車
- 共催: 木曾広域連合, 木曾文化公園
- 問い合わせ先: 木曾観測所 TEL: 0264-52-3360

木曾観測所ホームページ: <http://www.ioa.s.u-tokyo.ac.jp/kisohp/>

宇宙地球環境研究所ホームページ: <http://stsw1.isee.nagoya-u.ac.jp/>

※施設公開・講演会ともに事前申し込みは不要で、入場無料です。

※講演会はYouTubeでもライブ配信します。

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、内容や開催方法を変更する場合があります。ご来場前に必ず木曾観測所ホームページ等で開催状況をご確認ください。

### 国立天文台野辺山 特別公開のお知らせ

自然科学研究機構 国立天文台  
野辺山宇宙電波観測所

国立天文台野辺山では、日頃行われている天体観測の様子や、最新の天文学研究の成果をより広く知っていただくため、毎年観測所施設の特別公開を行っています。今年は新型コロナウイルスの拡大防止のため、現地での参加については感染対策をとりつつ実施することになりました。あわせて、インターネットでの配信も実施します。詳細は以下のとおりです。

#### 記

- 日時 2022年8月28日(日)  
午前9時30分~午後4時(現地開催)  
午前10時30分~午後3時30分(ライブ配信)  
インターネットでの配信はライブ配信だけでなく、しばらくの間視聴可能です。  
詳細な時間については、ホームページをご参照ください。
- 場所 国立天文台野辺山宇宙電波観測所, 南牧村農村文化情報交流館ベジタボールウィズ(長野県)ホームページ <https://www.nro.nao.ac.jp/>
- テーマ 『野辺山40年と新しい挑戦』
- 内容  
インターネット配信では、『ヨンゴ研究発表会』と題し、45メートル電波望遠鏡を使った最新成果の発表を、数名の研究者から行ってまいります。現地では、45メートル電波望遠鏡の主鏡に実際に触れてもらう企画やデモンストラーションを行います。また、ポスターによる研究発表会なども行います。また、いくつかのコンテンツをつないだキーワードラリーも計画中です。詳細に

については、ホームページをご覧ください。

5. ご注意

- ・オンラインでの参加は、ホームページのリンクよりご参加ください。
- ・当日はライブ配信を行います。配信スケジュールについてはホームページをご参照ください。YouTubeのチャットを使用して、質問やコメントなどをすることが可能です。ライブ配信したものは、しばらくの間視聴可能です。
- ・現地での参加については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用とともに、検温やアルコール消毒などの対策を行なって頂きます。
- ・当日は、公開時間が普段と異なり、午前9時30分から午後4時（入場は午後3時30分まで）となりますのでご注意ください。
- ・新型コロナウイルス感染拡大の状況によって、内容を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

6. 共催：南牧村振興公社、

後援：南牧村、南牧村商工会・商工会青年部、長野県、長野県教育委員会

7. 問い合わせ先

国立天文台野辺山宇宙電波観測所  
〒384-1305 長野県南佐久郡南牧村野辺山462-2  
電話：0267-98-4300（代表）  
URL: <https://www.nro.nao.ac.jp/>  
（詳細は随時ホームページでお知らせします）

**会務案内**

**公益社団法人日本天文学会 2021 年度  
(2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)  
事業および決算の報告**

事業・決算報告書の電子版を日本天文学会ホームページ上 (<http://www.asj.or.jp>) で公開しておりますが、書面による配布を希望される方には別途郵送いたしますので、学会事務所までご連絡ください。

**1. 2021 年度事業の報告**

2021 年 9 月の秋季年会（京都産業大学）及び 2022 年 3 月の春季年会（広島大学）は、新型コロナウイルス感染症対策のためオンライン開催となりました。また、助成金（早川基金）は、9 件の応募に対して 5 件採択しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響による渡航中止・オンライン化の影響を受け、2 件 48 万円の支援となりました。学術交流費・国内研究支援金

の応募はありませんでした。それ以外の活動内容はおおむね例年通りでした。欧文研究報告、天文月報、年会予稿集、ジュニアセッション予稿集の刊行、「シリーズ現代の天文学」第 2 巻第 2 版補訂版、第 9 巻第 2 版の刊行、各種委員会活動、各賞の授与、後援事業に関する事業を行いました。詳しい事業報告は学会ホームページを参照して下さい。2022 年 3 月 31 日現在の会員数は以下の通りです。

	正会員 (内学生)	準会員	団体 会員	賛助 会員	合計
2021 年 3 月 31 日	2,159 (504)	1,034	38	42	3,273
入会	231 (214)	54	0	0	285
退会・除籍等 (うち除籍)	△ 179 (115) (△ 16 (0))	△ 86 (△ 11)	0 (0)	0 (0)	△ 265 (△ 27)
移籍 (増)	7 (3)	24	—	—	31
移籍 (減)	△ 24 (10)	△ 7	—	—	△ 31
正会員へ (学生減)	△ (48)	—	—	—	—
2022 年 3 月 31 日	2,194 (548)	1,019	38	42	3,293

**2. 2021 年度決算の報告**

2021 年度の経常収益は前年度より 6,878,988 円増、経常費用は同 875,729 円減、学会の正味財産は 6,373,989 円増加し 139,939,785 円となりました。受取会費は前年度より 1,727,000 円減少し 41,033,000 円でした。

欧文研究報告 (PASJ) 事業では、Oxford University Press への委託以来収支が改善し、本年度も収益が経費を上回りました。年会事業では、新型コロナウイルス感染症の蔓延により秋季および春季年会がオンライン開催となったため会場費等が掛からず黒字となりました。賛助会費と寄付で運営されている助成事業では、早川幸男基金と研究奨励賞基金に本年度も寄付をいただきました。賛助会費ともども支援に感謝します。

2021 年度の公益目的事業会計は 1,515,206 円の黒字となりましたが、これは、上述の年会のオンライン開催や、円ポンドの為替差益による PASJ 事業の増益など複数の理由が重なったことが要因です。2022 年度は年会の現地開催が予定されるなど新型コロナウイルス感染症の蔓延以前の状況に戻つつあるため、公益目的事業会計も赤字化される見込みです。事業別決算書内訳は以下のとおりです。

(文責 庶務理事：町田真美，会計理事：酒向重行)

## 事業別決算書内訳表

2021年4月1日から2022年3月31日まで

公益社団法人 日本天文学会

(単位: 円)

科目	公益目的事業					
	一般事業					
	共通事業	欧文事業	月報事業	年会事業	その他の事業	小計
経常収益計	19,898,057	45,720,832	2,506,248	4,065,000	658,514	72,848,651
経常費用計	15,266,766	34,965,511	13,441,681	2,707,843	5,591,199	71,973,000
当期経常増減額	4,631,291	10,755,321	△ 10,935,433	1,357,157	△ 4,932,685	875,651

科目	公益目的事業						公益目的事業計
	助成事業						
	学術交流費事業	国内研修支援金事業	研究奨励賞事業	早川基金事業	林賞事業	小計	
経常収益計	690,092	116,448	690,010	475,468	858,122	2,830,140	75,678,791
経常費用計	275	550	856,170	475,468	858,122	2,190,585	74,163,585
当期経常増減額	689,817	115,898	△ 166,160	0	0	639,555	1,515,206

科目	法人会計	内部取引消去	合計
経常収益計	19,953,500	0	95,632,291
経常費用計	16,939,468	0	91,103,053
当期経常増減額	3,014,032	0	4,529,238

## 入会・移籍・退会のお知らせ

2022年5月21日に開催された公益社団法人日本天文学会理事会において、正式に入会・移籍が承認された方、退会が報告された方の人数をお知らせします。

入会 正会員：44名 準会員：9名

移籍 準会員→正会員：3名

退会 正会員：156名 準会員：44名

## 日本天文学会会員名簿発行中止のお知らせ

2022年度に発行を予定しておりました会員名簿は2022年1月10日開催の代議員総会の決定を受け、発行を中止することになりました。天文月報115巻4号の会務案内278ページをご参照ください。

## 2021年度ご寄付者名

2021年度に日本天文学会へご寄付をいただいた方々です。深く感謝申し上げます。

(敬称略/受付順)

中村土, 春日隆, 真貝寿明, 佐藤明達

編集委員より

天文月報表紙デザイン案大募集！

2023年1月号から12月号までの表紙を飾るデザインを募集します。

表紙は題字※（『天文月報』の文字）、号数、日本天文学会のロゴマーク※、記事タイトル、カラー画像（※については題字：[https://www.asj.or.jp/jp/activities/geppou/item/geppou\\_title.jpg](https://www.asj.or.jp/jp/activities/geppou/item/geppou_title.jpg)、ロゴマーク：[https://www.asj.or.jp/jp/activities/geppou/item/logo\\_J\\_black.eps](https://www.asj.or.jp/jp/activities/geppou/item/logo_J_black.eps)よりダウンロードのうえご利用ください）および背景イラストから構成されます。

すべての配置も含めたデザインをお願いいたします。毎月違うイラストでも、同じデザインで色違いでも構いません。具体例は過去の天文月報をご覧ください。

天文月報のホームページのバックナンバー（<https://www.asj.or.jp/jp/activities/geppou/backnumber/>）

■募集要項・天文月報投稿用アップローダーに、表紙デザイン案の画像ファイル、およびそのコンセプトをお送りください。

- ・カラー：CMYK
- ・ファイル形式不問

- ・雑誌のサイズ：B5判タテ（182ミリ×257ミリ）
- ・締切：2022年8月末日・送り先：天文月報編集委員会天文月報投稿用アップローダーまで

■応募規定

- ・募集する作品は、応募者が作成した未発表のオリジナル作品に限ります。
- ・作品の中に第三者が著作権等の権利を有している著作物等を利用していないものとします。
- ・採用された場合、納品された表紙の著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む。）は日本天文学会天文月報編集委員会に帰属します。
- ・採用された場合、表紙に使用したオリジナル原画の著作権（著作権法21条から26条の3に規定する権利。）は日本天文学会天文月報編集委員会に帰属します。
- ・採用された場合、著作者が表紙に使用したオリジナル原画を他の目的で使用の際は、事前にその旨を日本天文学会天文月報編集委員会に知らせ、転載許可を取ってください。
- ・応募にあたりご提供いただいた個人情報は、本要項による採用作品の通知のためのみに使用します。
- ・採用された方には、規定の謝礼をお支払いします。（12万円/1年分）

天文月報オンラインのIDとパスワード

ID: asj 2022

パスワード：雑誌コード（5桁の数字）と **vol115**（6文字）の計11文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○—▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

編集委員：江草芙実（委員長）、市川幸平、岩井一正、岩崎一成、小高裕和、小野寺仁人、嘉数次人、勝田哲、

川中宣太、津村耕司、西澤淳、西塚直人、秦和弘、福井暁彦、仏坂健太、前原裕之

令和4年7月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒162-0801 新宿区山吹町332-6 株式会社 国際文献社

定価733円（本体667円） 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359（事務所）/ 0422-31-5488（月報） Fax: 0422-31-5487 振替口座00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <https://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: [toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp)

会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会2022年（本誌掲載記事は無断転載を禁じます）